

## 序章

## ペトロナスチームトムス

## 参戦から6シーズン目で悲願のダブルタイトル獲得！



11月5日(土)、6日(日)の両日、今シーズン最後となる戦い、ツインリンクもてぎでのフォーミュラ・ニッポン第7戦にて、2006年よりフォーミュラ・ニッポンに参戦しているペトロナスチームトムスが、悲願のダブルタイトルを獲得した。参戦6年目にして手に入れたダブルタイトル、36号車は参戦当時から変わらずアンドレ・ロッター選手が

ステアリングを握っている。その彼も来日して9年目、トムスに移籍して6年、彼自身もフォーミュラ・ニッポンの初ドライバーズタイトルの獲得となった。

2レース制となった最終戦だが、公式予選の行われた土曜日には、TOM'S自身、初ポールポジションを2レース共に獲得。ロッター選手は、2ポイントを加え、更にチャンピオンに近づいた。一方、ドライバーズタイトルをランキング2位で争う37号車の中嶋選手も予選後、6ポイントと差が開いてしまったが、ロッター選手に続き、第一レース3番手、第二レース2番手でロッター選手に食い下がる健闘を見せた。そして決勝レースでは、第一レースは2台の攻防の末、第二レースは得意のウェットコンディションでロッター選手の圧勝と、両レース共にTOM'Sワンツールの完全勝利でドライバーズタイトルをロッター選手が獲得、それに続くランキング2位を中嶋選手が獲得し、最後まで横綱相撲で幕を閉じた。